

私は将来やりたいことが定まっていなかったため、進学先を決めるのにすごく苦労しました。

そのため、どの学部、入試方法を選択しても困らないように授業をしっかり受け、定期テストや小テストに力を入れてきました。定期テストでは常に上位に入ることを目指し、特進クラスに進むなど勉強に対するモチベーションを自分で上げていきました。もちろん定期テストも重要ですが、個人的には小テストがすごく重要だと思います。現代文の定期テストだと筆者の考えや心情などが問われますが、人の解釈が関わってくるので、確実な答えは分からず、学校によって正答とするものが変わってくるかもしれません。しかし、小テストでやるものは、漢字や熟語の意味など正答があるものを扱っていくので、たくさん知識がついていき、受験勉強につながります。また、小テストでやることは3年生になり、受験勉強をするときに必ず復習しなければいけないので、前の休み時間に答えだけを覚えるなど手を抜いているともう一度最初から覚えなければいけなくなってしまい、二度手間になります。そのため、小テストは重要視してほしいです。また、難関大にいきたい場合は特進クラスに進むことをお勧めします。特進クラスは一般受験の人が他のクラスよりも多く、勉強に力を入れたい人が集まっているので、最後まで受験の雰囲気が残っています。推薦の人が多いクラスだとどうしても雰囲気が緩くなっていきがちなので、雰囲気に流されてしまいたくない人はぜひ特進クラスを考えてみてください。

私は、一般受験だったので共通テストが初めての試験でした。合格先の大学は英語だけ共通テストまたは英検の得点を使うので高得点を取りたいと思っていましたが、リーディングの文章の量が例年より増えたため、時間が足りなくなるかもと焦ってしまいました。自己採点をしなくても出来が悪いことがわかる状況になってしまいました。しかし、まだ試験は続いていくので気持ちを切り替えてリスニングで挽回するぞと考え、乗り越えました。過去問や自分が想定していたものと異なることが当たり前と思っておいた方が気が楽です。

特に、皆さんの代からは教科書やカリキュラムが私たちとは違うので過去問とは違う形式になるかもしれないし、情報という科目は共通テストでは未知のものです。大学入試センターや文部科学省がサンプル問題を出しているのでぜひ解いてみてください。私たちよりさらに思考力や判断力が求められ、難しくなるかもしれませんが、自分がやってきた勉強を信じて頑張ってください。応援しています。